

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2019-194663 (P2019-194663A)

【公開日】令和 1 年 11 月 7 日 (2019.11.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-045

【出願番号】特願 2018-142100 (P2018-142100)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/00 (2006.01)

F 2 1 S 2/00 (2016.01)

C 0 9 J 7/22 (2018.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

G 0 2 B 6/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/00 Z

F 2 1 S 2/00 4 3 3

C 0 9 J 7/22

C 0 9 J 201/00

G 0 2 B 6/00 D

G 0 2 B 6/00 3 3 1

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 8 日 (2021.6.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

出射側の第 1 主面と該第 1 主面の反対側の第 2 主面とを有する導光部と、
該導光部の該第 1 主面に所定のパターンで設けられた出射制御層と、
該導光部の該第 1 主面側に設けられた光取り出し構造と、を備え、
該導光部の屈折率 n_1 と該出射制御層の屈折率 n_2 とが、 $n_1 > n_2$ の関係を満たし、
該出射制御層の屈折率 n_2 が $1.01 \sim 1.30$ である、
光取り出し部材。

【請求項 2】

前記光取り出し構造が凸部を有する、請求項 1 に記載の光取り出し部材。

【請求項 3】

前記出射制御層の前記導光部と反対側に、別の光取り出し構造がさらに設けられている、
請求項 1 または 2 に記載の光取り出し部材。

【請求項 4】

出射側の最外層として粘着剤層をさらに有し、該粘着剤層の屈折率 n_5 、前記導光部の
屈折率 n_1 および前記出射制御層の屈折率 n_2 が

$$n_1 > n_2, n_5 > n_2, \text{および、} n_1 - n_2 > n_1 - n_5$$

の関係を満たす、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の光取り出し部材。

【請求項 5】

前記粘着剤層が、前記出射制御層を覆うとともに前記導光部の第 1 主面に接して設けら
れている、請求項 4 に記載の光取り出し部材。

【請求項 6】

前記出射制御層のパターンを規定する開口部の分布が、光源側よりも光源から離れた側の方が密となるよう構成されている、請求項 1 から 5 のいずれかに記載の光取り出し部材。

【請求項 7】

前記出射制御層が、微細な空隙構造を形成する一種類または複数種類の構成単位からなり、該構成単位同士が触媒作用を介して化学的に結合している、請求項 1 から 6 のいずれかに記載の光取り出し部材。

【請求項 8】

前記出射制御層の構成単位が、粒子状、繊維状、棒状、および平板状からなる群から選択される少なくとも一つの形状の構成単位である、請求項 7 に記載の光取り出し部材。

【請求項 9】

前記出射制御層の構成単位同士の結合が、水素結合または共有結合を含む、請求項 7 または 8 に記載の光取り出し部材。

【請求項 10】

前記出射制御層の構成単位が、無機物を含む、請求項 7 から 9 のいずれかに記載の光取り出し部材。

【請求項 11】

前記出射制御層の構成単位が粒子状であり、該粒子状の構成単位が、Si、Mg、Al、Ti、Zn および Zr からなる群から選択される少なくとも一つの元素を含有する微細孔粒子を含む、請求項 7 から 10 のいずれかに記載の光取り出し部材。

【請求項 12】

前記微細孔粒子が、ゲル状シリカ化合物の粉碎体を含む、請求項 11 に記載の光取り出し部材。